

## 応急仮設住宅チェックシート

- ◆ 応急仮設住宅の計画・設計において、性別や年齢にかかわらず誰にとっても住みやすい環境を整備し、住民同士のコミュニティ形成がされるよう促します。
- ◆ 女性、子ども・若者、高齢者、障害者等の多様な主体の意見を踏まえた応急仮設住宅運営を行うため、管理人や自治会の役員には男女両方が参画します。
- ◆ 入居者の個別のニーズや状態を把握し、問題の解決に努めます。

### 女性や子育て家庭に配慮した応急仮設住宅の設置

- 応急仮設住宅の計画・設計の意思決定過程への女性の参画
- 誰もが使いやすいバリアフリー仕様の設計  
(通路、玄関、風呂等の段差解消、手すりの設置、砂利道の通路を舗装等)
- 応急仮設住宅敷地内の屋外照明の設置、死角の解消
- 入居者同士の交流等が図れるように、集会所、集会スペース等の設置とともに、その運営を支援

### 男女共同参画の視点に配慮した応急仮設住宅の運営

- 管理人への男女両方の配置
- 応急仮設住宅団地における自治会等の育成及び役員へ女性の参画の確保  
(女性の割合は少なくとも3割以上を目標にする)
- きめ細かな支援に活用できる入居者名簿の作成及び情報管理の徹底  
(氏名、性別、年齢、支援の必要性(健康状態、保育や介護を要する状況等)、外部からの問合せに対する情報の開示・非開示の可否、等)
- 保健師等の専門職や生活支援員等による入居者の状態把握及び専門的支援の提供  
(生活支援員による訪問は男女ペアのスタッフを基本とする(同性によるニーズの聞きとり、スタッフ側・入居者側双方の安全確保のため)。民間支援団体等との連携を図る)
- 不安や悩み、女性に対する暴力等に対する相談窓口の周知、男性相談窓口の周知
- 自治会や民間支援団体等との連携による生活支援・自立支援の実施